

2022 年度日本不育症学会認定医試験のご案内

日本不育症学会認定医制度の認定医制度規則・細則に基づき、日本不育症学会認定医の資格認定審査を以下のように実施いたします。学会員で認定審査を希望される先生方におかれましては、下記受付期間中に申請くださいますようお願いいたします。

2021 年 11 月 16 日

2021 年 11 月 24 日改訂

日本不育症学会理事長 杉浦真弓

日本不育症学会認定医委員会

記

申請するにあたり、予め日本不育症学会ホームページ (<http://jpn-rpl.jp/>)、認定制度の項を十分に参照すること。

1. 受験資格

- 1) 産婦人科専門医を有すること。
- 2) 申請時において日本不育症学会（以下、学会という）に3年以上継続して所属しており、会費を完納していること。（注：学会設立以前に不育症研究会に入会していた者はその期間も含むことができる）

*2022 年度の試験については特例措置として、試験の時点(2022 年 6 月 12 日)で3年以上継続して所属しており、会費を完納していること。

- 3) 不育症における十分な臨床経験があること。すなわち、不育症に関連する検査、診断、管理の経験が15例以上あること（本学会入会前の期間も含む）。
- 4) 過去に筆頭著者もしくは責任著者としての不育症に関連する論文発表（注1）、または、筆頭演者として不育症に関連する学会発表が合わせて3つ以上あること。（本学会入会前の期間も含む）

注1：原著・総説・症例報告のいずれでもよい。しかし、抄録、会議録、書籍などの分担執筆はこれに含めない。掲載雑誌は査読制を敷いている雑誌であること（院内雑誌は除く）。掲載予定の論文については申請日までに掲載が決まった論文とし、その場合は論文のコピーと掲載証明書の提出を必須とする。

- 5) 申請期日から過去3年間に日本不育症学会研修認定単位（以下、研修認定単位）を4

単位以上（注2）を取得していること。学術集会、講習会で定める要件を満たした場合に研修認定単位1単位付与する。

注2：今回の特例として、2022年2月開催予定の第4回日本不育症学会認定講習会（Web、修了証発行あり）において取得した単位を含めることができる。詳細は下記「5.研修認定単位の特例措置について」を参照

2. 試験日程

日時：2022年6月12日（日）

場所：名古屋市立大学医学部講義室（名古屋市瑞穂区）

午前中に筆記試験、午後に面接を行う。時間と内容の詳細については後日通知する。

3. 申請受付期間

2021年11月20日～2021年12月25日（土）必着。下記（4.申請書類）に示す書類を揃えてメールで事務局に送付すること。（注：申請時点の認定単位取得が3単位の場合は2022年2月開催の講習会の受講で規定の4単位になるため、認定単位の締め切りのみ2022年3月31日まで延長可。その他の書類は12月25日までに提出すること）

4. 申請書類

日本不育症学会ホームページより様式1～4、10をダウンロードして使用すること。

- 1) 不育症認定医新規認定申請書（様式1）
- 2) 履歴書（様式2）
- 3) 産婦人科専門医の認定証（写し）
- 4) 診療した不育症症例の詳細・診療担当患者一覧表（様式3）
- 5) 不育症に関連する学会発表を証明できるもの（抄録集の表紙および抄録部分など、またはそれに準ずるもの）（写し）、または不育症に関連する論文（写し） 計3つ
- 6) 過去3年以内の研修認定単位4単位の受講証あるいはそれを証明できるもの（写し）
- 7) 認定審査料20,000円の払込受領書（写し）
- 8) 新規認定医申請のための提出書類確認票（様式4）
- 9) 研修認定単位の特例措置に関する書面（様式10）（2022年度のみ）

5. 研修認定単位の特例措置について

2022年の試験については特例として、以下の①～⑤の学術集会、講習会の研修を認定単位とする。2021年12月25日までに3単位取得のみの場合は以下の⑤を受講することで規定の4単位となり、その場合は研修単位の提出締め切りを2022年3月31日必着とする。（その他の書類は2021年12月25日までに提出していることが必要である）

- ① 2019年3月30日 第1回日本不育症学会学術集会（特別講演・教育講演両方の出席

で1単位とする。修了証の発行はないため、出席した旨を様式10に明記すること。
自身の出席有無が不明の場合は事務局に問い合わせをすること)

- ② 2020年11月 第2回日本不育症学会学術集会 (Web、修了証発行あり)
- ③ 2021年2月 第2回日本不育症学会講習会 (Web、修了証発行あり)
- ④ 2021年9月 第3回日本不育症学会学術集会 (Web、修了証発行あり)
- ⑤ 2022年2月 第4回日本不育症学会認定講習会 (Web、修了証発行あり)

6. 書類の提出について

原則として全てPDFに変換し事務局へ電子メールで提出。紙媒体のものも可能な限りスキャンしPDFファイルに変換して送付すること。それができない場合はWordファイルで電子メールで提出、紙媒体の郵送も受け付ける。

*Word文書をPDFに変換する方法：ファイル→名前を付けて保存→ファイルの種類をクリックし「PDF」を選択し保存。紙媒体はスキャナーがあればPDFを選択して保存。

7. 審査料

20,000円

振込先：日本不育症学会事務局

愛知銀行 桜山支店 (店番202) 普通 2069304

*振込人名は会員名で、手数料はご自身負担でお願いします。

8. 提出先

原則として電子メールで事務局(下記のアドレス)へ送付すること。書類提出と審査料振込の確認後に申請確認のメールを7日以内に事務局より送信する。

宛先：日本不育症学会事務局 ogikyoku@med.nagoya-cu.ac.jp

郵送先(メールで送付できない場合に限り)：

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

名古屋市立大学医学部産婦人科教室内 日本不育症学会事務局

9. 合格通知

2022年8月末までに本人へ認定証を送付するとともに学会ホームページで公開する。

10. 認定医の有効期間

交付の日から、交付の年数に5を加えた年の3月31日までとする。(例：2022年8月1日認定の場合は、2027年3月31日まで)

11. 認定医制度に関する問い合わせ先

日本不育症学会事務局 ogikyoku@med.nagoya-cu.ac.jp

*お問い合わせはメールにてお願いいたします。

以上